教　育　研　究　業　績　書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	髙間　準（タカマ ジュン）
最終学歴	京都市立芸術大学大学院美術研究科
保有学位	修士（芸術学）
主な職歴	プール学院大学短期大学部幼児教育保育学科（2015～2019） 小田原短期大学保育学科通信教育課程（2019～）
専門分野	現代美術、美術教育
研究テーマ	見ることや美術館での作品鑑賞体験を重視しながら資質・能力を高めることを目指した、幼児期の再帰的「感性」及び「豊かな感性」の目的的志向性の研究
担当授業科目	保育・教職実践演習（幼稚園）、教育の方法と技術
教育研究業績	【論文】 ・「領域『表現』(造形分野)や『図画工作』に関する資質・能力の捉え方とディシプリンに基づく美術教育について」（プール学院大学紀要第５９号・2019 年） ・「領域『表現』における『感性』の省察性について」(小田原短期大学 第５１号研究紀要・2021 年) ・「幼児教育における再帰的感性と非認知能力の関連及びその陥穽について」(保育を考える研究会紀要第４号・2022 年) ・「幼稚園教育要領『豊かな感性』の意味するところ」（小田原短期大学 第５３号研究紀要・2023 年 【著書】 ・「保育・教職実践演習」（共著）（ミネルヴァ書房・2017 年） 【その他】 ・《教育実践発表》「見ることや美術館での作品鑑賞体験を重視しながら資質・能力を高めることを目指した、幼児期の表現活動について（共同研究）」 （第 68 回日本美術教育学会学術研究大会「東京大会」・2019 年） ・日本保育学会(口頭発表・2020 年)、美術教育学会(オンライン発表・2020 年) ・《教育実践発表》「幼児教育における資質・能力と「再帰的感性」について」(共同研究)(第 70 回日本美術教育学会学術研究大会「京都大会」・2021 年) ・日本保育学会(口頭発表・分科会座長及び研究奨励賞推薦委員 2021 年) ・《教育実践発表》「幼児教育における再帰的感性と非認知能力の関連について」(共同研究)(第 71 回日本美術教育学会学術研究大会「せとうち大会」・2022 年) ・日本保育学会(口頭発表・分科会座長及び研究奨励賞推薦委員 2022 年) ・日本保育学会 第 76 回熊本大会(口頭発表「領域『表現』の豊かな感性での『豊かな』を顕在化することは保育に何をもたらすか？」 2023 年)
所属学会	日本保育学会、日本美術教育学会、美術科教育学会
主な社会活動	「和歌山県立近代美術館との協定締結・連携事業の推進」2017 年～